

講座共催にあたって



日本の保健医療福祉は大きな転換点にきているといわれ、医療保険制度や介護保険制度などといった社会保障システムの問題も含め、解決しなければいけない問題が山積みになっています。そのような中で、改めて、セルフケアあるいはセルフマネジメント、つまり自分の健康は自分で管理し増進していくという意識こそ、最も大事な基本であるという声が大きくなってきて、生活習慣病・メタボリックシンドロームなどという概念は、まさしく、自分たちの生活における行動変容こそが、病気予防につながるということを提示したものだと思います。さらに、欧米を端緒に、統合医療という「新しい医療」の在り方を探る社会運動ともいえる潮流が、日本でも語られていますが、この中でも、医療の提供者からではなく、受益者側からの発想の大切さが説かれています。健康を守り、創っていくのは自分であるという自覚こそ基本だと思います。しかし、インターネットをはじめとして情報があふれ、ともすると迷いや、誤った情報に惑わされてしまうことがあるかもしれません。

自分の専門性を活かしながら、広く様々な知識を生涯学び続け、正しく新しい情報を、受益者の皆さんに伝えていくことは、医療保健福祉に携わるものとしての義務です。

人々のいのちの輝きを支え続けていこうという、高い志を持っているあなたに、是非受けてもらいたい講座です。

平成21年9月吉日
学校法人 後藤学園
理事長 後藤修司